研究や実験のレクチャー等々…益崎先生、屋比久先生を初めとする第二内科の皆様には貴重なお時間を割いて頂き、授業で教えていただいている知識が現場でどう活用されているのかを学ぶ機会を頂けました。蛇足ですが各種講演会のお弁当も美味しかったです（笑）第二内科の皆様、本当にありがとうございました。改めてここでもお礼を言わせて頂きます。

■後期がはじまって

前期に比しては比較的授業時間だけではありますがいよいよ将来の専門につながっていく生物学Ⅰ、Ⅱ、そして昔は２年生で履修されていたという生命科学の授業が始まりました。生物学Ⅱについては高校の生物学の発展として生化学へつながる内容を教えて頂けるようですが、生物学Ⅰについては個体群の成長速度をひたすら各種モデルに対する微分方程式で表し、それを解く事を現在繰り返しています。数学が苦手な学生はかなり苦労しているようです。生命科学については毎回小田先生の講義をおもしろく拝聴させていただいておりいよいよ専門のさわりが学べると皆ワクワクしています。

また後期のもう一つの大きな特徴が生物学実験そして物理学実験の２つの実験が必修となっていることです。上級学年の皆様に比べればまだまだ簡単ですが実験レポートを週に２個出す必要があるのはまだまだレポートの作法がわからない我々にとってはなかなか骨の折れる仕事です。レポート提出前日は朝４時頃までマックやファミレスで皆勉強しています。もうちょっと計画的に事前に終わらせるようにしないといけませんね。

■２年生になれるのか!? そして未来に向けて

前期を見る限り基本的にほとんどの学生はきちっと単位を履修していました。一部第二外国語の単位を前期で落としたorそもそも履修していなかった学生がでていましたが様々な方のご協力の結果、何とかなったようです。あとは大学生活に慣れ気がゆるんできた後期ですが必修の英語、理科関係はもちろん早い時限の教養などを落とさなければ何とかなるハズ…。まだまだ試験期間まで時間的余裕がありますが、仮称：試験対策委員会の設立準備も進めており試験対策も力を入れている所です。何とか全員進級して２年生として専門を勉強をはじめたいところです。

最後に、既に一部の学生有志で２年の専門に向けて勉強会の動きがいくつか出ているようです。Gray’s Anatomyに辞書片手で挑んでみたり、研究室にお邪魔させて頂き研究の手伝いをさせて頂いたり等々…。どこまで出来るかはまだまだ未知数ですが将来に向けてしっかり準備していきたいと思っております。

以上まとまりがありませんがこれで１年の近況報告を終わります。